

概要版

滝川市子どもの読書活動推進計画
平成26年度～平成30年度

～本を読んで大きくなあれ!!～



子どもの読書活動推進計画の趣旨

「滝川市子どもの読書活動推進計画」は、すべての子どもが豊かな読書体験を通してすこやかに成長していくために、家庭をはじめとして地域・幼稚園・保育所・学校・図書館等が連携・協力して、滝川市全体で読書環境整備に取り組むための基本的な方向と具体的な方策を明らかにするため策定したものです。

滝川市教育委員会



平成26年3月

発行者 滝川市教育委員会

編集 滝川市立図書館

滝川市大町1丁目2番15号

電話：(0125) 22-4646

FAX：(0125) 23-1284

E-mail: tosyo@city.takikawa.hokkaido.jp

本を読んで大きくなあれ!!～みんなで取り組む子どもの読書活動の推進

基本方針

- ①子どもが読書に親しめる機会の提供や環境を整備します。
- ②子どもの発達段階に応じた取り組みを推進します。
- ③子どもの読書の重要性を、子どもを囲む大人に伝えるために情報発信や啓発活動を行い、子どもの読書を支えてくれる人材を育成します。

目標

- ①家庭・地域・学校等における子どもの読書活動の推進
- ②子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
- ③子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

重点的な取り組み

- I.ブックスタート^{注1}**
生まれてきた赤ちゃんへ絵本を贈ります。発達段階に応じた絵本や選び方、子育て情報も併せて提供します。
- II.家読(うちどく)^{注2}**
家族みんなで好きな本を読み、読んだ本について話す「家読タイム」を普及します。
- III.おすすめ本の紹介**
各年代に合わせたおすすめの本を紹介し、読書への誘いを応援します。

対象

- 0歳前から高校生
- 保護者
- 子どもと接する身近な大人

実施主体

- 家庭
- 地域
- 子どもと大人が集まる施設
- 幼稚園・保育所・託児所
- 学校
- 図書館

発達段階ごとの特性

- 0歳前
お母さんがおなかの赤ちゃんに読み聞かせをすることで、生まれてきた赤ちゃんがお母さんの声を認識して安心したり、お母さん自身も、心の安定が図られます。
- 乳児期
大人からの語りかけによって言葉を獲得していく時期です。読み聞かせによって、親子の絆を深めることができます。
- 幼児期
言葉が豊かになり、色々な本に興味を示し始め、自らの力で本を読むことへとつながっていく時期です。
- 小学生
文字を覚え、読書の喜びを知り、徐々に主体的に読書の習慣を身につけていく時期です。
- 中学生
勉強等で、読書時間が減少する傾向が出てきます。読書の習慣づけの取組みとともに、広がる趣味・関心に合わせた読書環境の整備が重要です。
- 高校生
不読者も増加する時期です。本との出会いが、人間的成長のきっかけにもつながることから、身近な人たちの本を薦める取り組みが大切です。

子どもの読書活動の推進のための方策：アクションプラン 新規・拡充事業

網かけ：新規事業

	0歳前	乳幼児	小学生	中学生	高校生	特別な支援を必要とする子ども	子どもをとりまく大人
家庭		■家読タイムの実施					
地域		■出張おはなし会の活用					
子どもと大人が集まる施設		■絵本の紹介や読み聞かせ、子育て情報の提供	■出張おはなし会の活用			■出張おはなし会の活用	
		■地域文庫の設置				■地域文庫の設置	
幼稚園 保育所 託児所		■出張おはなし会の活用					
学校		■学校図書館担当職員の配置 ■蔵書のデータベース化推進		■アニメーション ^{注3} の実施	■団体貸出の活用		
		■学校図書館の蔵書の充実					
図書館		■ブックスタートの実施 4・5か月児 1歳6か月児 3歳児	■パスファインダー作成 ^{注4}		■点字併記の図書の収集 ■触感を楽しむ絵本の収集 ■大活字本の収集		
		■出張おはなし会の実施 ■紙芝居の充実 ■大型絵本の充実 ■読み聞かせ機材の充実	■本を活用した体験プログラム ■アニメーションの実施	■ビブリオバトルの実施 ^{注5}		■学校図書館環境整備の支援	
		■出張おはなし会の実施 ■紙芝居の充実 ■大型絵本の充実 ■読み聞かせ機材の充実		■ヤングアダルトコーナー ^{注6} の充実		■福祉への理解を深める図書の整備 ■昔話絵本の充実	■保護者への啓発活動の実施 ■読み聞かせ講習会の実施
		■児童書充実		■おすすめ本の紹介			

注1 ブックスタート：生まれてきた赤ちゃんへ絵本を贈り、その絵本を通じて、親子の心がふれあうひとときを持つきっかけをつくる取り組み。

注2 家読(うちどく)：家族で本を読んでコミュニケーションを図り、家族の絆を深めることを目的とした読書活動。

注3 アニメーション：読書をゲームとして楽しみながら読解力・表現力・コミュニケーション力を育てる読書指導法。

注4 パスファインダー：あるテーマに関する資料や情報を探すための手順や調べ方を簡単に紹介した手引きのこと。

注5 ビブリオバトル：発表者が自分のおすすめ本を持ち寄って5分間で紹介し、観客がどの本が一番読みたくなったかを投票して1位の「チャンプ本」を決定する書評イベント。「知的書評合戦」とも呼ばれる。

注6 ヤングアダルト：発達心理学で「成人前期」のことを指し、「公共図書館におけるヤングアダルト(青少年)サービス実態報告」では、13歳から18歳(中学生から高校生の学齢)の利用者と規定されている。